

## 2023年度

科目名称	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法
授業コード	AI359
英語名称	Methodology for Special Activities and the Period for Integrated Studies
学期	2023年度後期
単位	2.0
担当教員	前嶋 深雪 (教育人間科学部)
記入不要 ナンバリ ングコード	
授業の概要	<p>○特別活動は、他者との協働や集団活動を通して自己を理解し、人間関係を形成する等、社会的な学びを担う教育指導内容を持つ。「学級活動」「児童会活動」「クラブ活動」「学校行事」のそれぞれの意義や役割を理解し、特別活動に関する指導の組み立て、学級活動の指導案づくりについて学ぶ。</p> <p>○総合的な学習の時間では、探求的な学びと横断的・総合的な学習が求められている。また、主体的・協働的な学習に取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を養うことを目標にすることから、学習指導要領において、総則と特別活動に関連し合うため、該当する総則の内容についても触れる。</p>
科目に関連する実務経験と授業への活用	<p>○小学校の校内研究において「かかわり合い」「対話的な学び」「チーム学習」について年間指導講師として招かれている経験と、学級活動の指導案づくりや研究授業の講評講師をつとめている経験から、学級経営や生徒指導及びキャリア教育についての理解が深まるように、学級活動の指導案づくりを作成できることを目指した授業を展開する。</p>
到達目標	<p>○教育活動における特別活動と総合的な学習の時間の意義と役割についての理解を深めることを目的として、学級活動の指導内容を理解し、指導案の作成ができること、児童会活動・クラブ活動・学校行事を集団やかかわりの学びとして教育活動に位置づけ、活用すること、総合的な学習の時間の具体的な指導内容をイメージできるようになることを目標とする。</p> <p>○学科が定めるディプロマ・ポリシーに関する位置づけは以下のとおり。  【知識・技能】授業づくりや授業展開に必要な特別活動に関する考え方や学術的知識を理解し、子どもの育ちに即した教育方法を実践することができる。  【使命感・思考力】かかわりや集団での行動など社会生活に必要な技能や知見を身に付け、協働しながら、課題に取り組むことができる。  【人間力・指導力】かかわり合いや探究活動に関する理解を踏まえ、子どもの発達や育ちを基に指導計画を作成し、省察・改善することができる。  【創造的な保育や教育】多様性のある子どもたちの育ちを支える教科の専門性を身に付け、未来を担う子どものための新たな教育方法を模索することができる。</p>
計画・内容	<p>第1回 インTRODダクション 特別活動/総合的な学習の時間とは？</p> <p>第2回 特別活動の目標 人間関係形成/社会参画/自己実現</p> <p>第3回 特別活動：学級活動 実践・体験から学ぶ</p> <p>第4回 特別活動：学級活動 学級づくりとキャリア形成</p> <p>第5回 特別活動と総則との関連 学級経営</p> <p>第6回 特別活動と総則との関連 主体的・対話的で深い学び</p> <p>第7回 課題実践：学級活動の指導案づくり 学級活動の教材研究</p> <p>第8回 課題実践：学級活動の指導案づくり 発達段階を意識した指導内容</p> <p>第9回 課題発表 低学年・中学年の模擬授業</p> <p>第10回 課題発表 中学年・高学年の模擬授業</p>

2023年度

<p>計画・内容</p>	<p>第11回 総合的な学習の時間 改訂のポイントと目標 第12回 総合的な学習の時間 内容の取扱いと指導の考え方 第13回 総合的な学習の時間 内容の取扱いと体験的・横断的な学び 第14回 総合的な学習の時間 考えるための技法/評価 第15回 まとめ 理解度の確認：まとめ思考テスト（記述形式）</p>
<p>授業の進め方</p>	<p>○各回テーマが異なるため、各回の授業目標と授業内で提示する設問について説明する時間をとる。各回のテーマごとに異なるメンバーで話し合いの時間を持ち、チームで考える時間と全体で共有しながら理解を深める時間を配分しながら授業を展開していく。また、各回の授業の最後に、ふりかえりのコメントシートを提出する。</p>
<p>能動的な学びの実施</p>	<p>○学生どうしで考えの交流を行い、一つの課題について合意形成・課題解決をする時間を持つ（チームで話し合うアクティブラーニングの形式を導入）。また、授業ごとにコメントシートに「新しい発見」を記入し、ポートフォリオとしてふりかえり、学修の深まりを実感できるようにする。</p>
<p>授業時間外の学修</p>	<p>○各回テーマが異なるため、授業終了後の復習として、授業内容をまとめておくこと（各回約2時間相当） ○教科書である「小学校学習指導要領解説（特別活動編）」「小学校学習指導要領解説（総合的な学習の時間編）」及び参考書「小学校学習指導要領解説（総則編）」を何度も読み、記述内容の把握と理解をしておくこと（各回約2時間相当） 15回で約60時間相当の予習及び復習の時間を持つこと</p>
<p>教科書・参考書</p>	<p>○教科書：小学校学習指導要領解説（特別活動編） 小学校学習指導要領解説（総合的な学習の時間編） （文部科学省HPからダウンロード可） ○参考書：中村豊・原清治編『新しい教職教育講座 教職教育編 特別活動』 ミネルヴァ書房（2018年） 林尚示『特別活動 改訂版 総合的な学習（探求）の時間とともに―』 学文社（2019年） 小学校学習指導要領解説（総則編）（文部科学省HPからダウンロード可）</p>
<p>成績評価方法と基準</p>	<p>○授業内のチームでの話し合いへの参加とコメントシート30%、チーム課題35%、まとめ思考テスト（理解度の確認：記述形式）35%により総合的に評価する。</p>
<p>課題等に対するフィードバック</p>	<p>○コメントシートでのふりかえりを授業の最初に紹介し、疑問や質問から考えを深めていく時間を持つ。</p>
<p>オフィスアワー</p>	<p>○CampusSquareを参照</p>
<p>留意事項</p>	<p>○考えを応答する時間や思考のアウトプットの多い授業となるため、体調やぐあいが悪いと十分な学びができなくなるので、健康に留意して授業に臨むこと。</p>
<p>非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」</p>	<p>授業の進め方：Zoomによるオンライン授業にて実施する。 成績評価方法と基準：Zoom受講及びコメントシート提出30%と課題提出35%、まとめ思考テスト（理解度の確認：記述形式）30%で評価する。</p>